

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	<ul style="list-style-type: none"> 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している 	基本	全体の相談窓口は人事部が受け持っている。今後人事で行う教育の中に差別に関するものを整備し体制を整えていく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	2	<ul style="list-style-type: none"> 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している 	基本	2019年、全従業員対象にハラスメント教育を実施。就業規則にハラスメントに関する罰則を明記すると共に、人事部門内に相談窓口を開設している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる 	基本	年間を通じた変形労働時間を労働組合と協定し、働き方改革に取り組む中でも、年間総労働時間削減を一つの指標として取り組んでいる。また、定時退社日の徹底を図り、所定外労働時間の短縮に努めているほか、アニバーサリー休暇取得の徹底に努めております。								8.5 8.8									
	4	<ul style="list-style-type: none"> 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している 	基本	外国人実習生を11名採用(2023年6月末時点)。実習生には生活相談員を付け、差別なども含め相談できるようにしている。また周りの日本人にも差別がないよう指導している。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	<ul style="list-style-type: none"> 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる 	基本	各地区で安全委員会を組織し、各事業部門にあった取り組みを展開している。また各地区をつなぎ中央安全委員会も組織し、会社指示の徹底や全社の問題の解決に当たっている。							3			8							
	6	<ul style="list-style-type: none"> 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる 	基本	24時間の第三者窓口も設置して受け付けている。またなつてしまった方への復帰支援プログラムを用意し、フォローしている。								3									
	7	<ul style="list-style-type: none"> 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる 	基本	働き方改革の一つのテーマとして取り組んでいる。女性が働きやすく活躍できるようにまた、介護離職防止や障害者が会社に来なくても仕事ができるテレワークの導入も進めている。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	8	<ul style="list-style-type: none"> 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している 	基本	全社員に階層別研修を実施すると共に、昇格条件に必要な通信教育は75%を会社負担としている。また各階層で選抜による教育を行い、次世代の育成もはかっている。					4	5.5			8	9							
	9	<ul style="list-style-type: none"> 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している 	基本	雇用形態によつての手当の差はない。また契約社員、嘱託社員の正社員登用の門戸は開かれている。						5.5			8.5	10.2 10.3							
	10	<ul style="list-style-type: none"> 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる 	チャレンジ	会社で行う健康診断の結果が良好でない従業員に対して指導を行うとともに、第三者による健康相談窓口を24時間開設している。また、会社の福利厚生制度を社内報で家族にもPRしています。								3			8						
環境	11	<ul style="list-style-type: none"> 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる 	基本	廃棄物管理者による廃棄物の管理及び適切な処理を行うと共に、法的管理者による順守状況の監査(2回/年)を実施しています。										11.6	12.4		14.1				
	12	<ul style="list-style-type: none"> 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している 	基本	長野県地球温暖化防止条例、省エネ法に則り、使用量・排出量を把握し、届出をしています。									7.3			13					
	13	<ul style="list-style-type: none"> 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる 	基本	ISO14001の環境方針・目標に掲げ、基準年度(2009年度)より毎年度1%削減に取り組んでいます。										7.2 7.3			12.4	13.3			
	14	<ul style="list-style-type: none"> 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる 	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握、管理し、PRTR法に則り届出をしています。								3.9		6.3		11.6	12.4				
	15	<ul style="list-style-type: none"> 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している 	基本	製品開発段階で環境に配慮した部材選定を行うことで、生物多様性保全に配慮しています。										6.6					15		
	16	<ul style="list-style-type: none"> 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる 	基本	製品ライフサイクルの視点で、省資源・省エネ・再生材の活用等を考慮した環境に配慮した製品開発を行っている。また、再資源化率を環境方針・目標に掲げ取り組んでいます。また、当社の工場から排出される張り地端材を活用して、協力工場で粉砕後、チップウレタンと混合して、オフィスチェアのクッションとして製品化を実現。2022年12月に「信州プラスチックスマート運動協力事業者」として登録されました。													12.5		14.1		

17	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水質汚濁防止法に則り、排水処理施設で適切に管理・処理した排水を河川に放流しています。						6.4 6.6												
	カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001を認証取得しています。（1999年3月認証登録）			3.9		6	7				12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPで環境への取り組みを公開しています。										12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光パネルを設置しています。（400kwh） 当社の南平工場と函館事業所で使用する電力のすべてを実質的に再生可能エネルギー100%の電力に切り替えています。 また、本社内では「信州Greenでんき」を採用しています。					7.2						13							
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	トッランナー設備、機器への更新を行い、燃料削減に取り組んでいます。										12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	2007年10月に定めたタカノ株式会社「行動指針」に公務員への贈賄・不適切な接待・違法な政治献金や寄付金の禁止に関する規定を定め、それらを周知しております。																16 16.5		
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	2007年10月に定めたタカノ株式会社「行動指針」に競合会社との公正な競争遵守と不正手段による営業秘密情報の取得・使用の禁止規定を設け、それらを周知しております。																16		
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当社では、「知的財産管理規程」を定め、その運用により、発明・権利化の奨励と営業秘密も含めた当社知的財産権の保護保全に取り組んでいます。また、当社が第三者の知的財産権の侵害をしないよう、上市する製品・サービスの特許調査等も積極的に行っております。						8.2 8.3	9											
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	2007年10月に定めたタカノ株式会社「行動指針」にプライバシーの保護に係る規定を定めるとともに、2005年4月制定実施の「個人情報管理規程」により、全社的な個人情報管理手続きを定めるとともに、当該規程を運用しております。																16		
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	一部の部署における仕入においては、紛争鉱物にかかる購買について確認を行う方向で検討を行っております。今後はそれら網羅的な確認の方法について、検討の範囲を広げるよう努めてまいります。																16		
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤーへの当社の人権侵害防止や環境・倫理面についての方針の伝達や認識共有については、一部の内容については行っておりますが、サプライヤー向けの当社方針の策定・伝達までは至っておりません。今後は中期的に、当該方針の策定・伝達・共有を計画的に進めてまいります。				5		8		10	12	13	14	15	16	17				
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品開発段階でリスク分析（FMEA等）や製品強度試験により製品を評価し、安全性を確保しています。			3.9							12.4								
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質マネジメントシステムを構築し、ISO9001を認証取得しています。（1996年12月認証登録）								9										
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001の環境方針・目標に掲げ、環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。					6					12	13	14	15					
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進しています。（健康・医療機器、健康食品、検査装置、日除け等）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社員の子育て応援宣言（2021年8月～）	①ダイバーシティの取り組みを強化し、多様性のある職場づくりに努めております。 ②業務の省力化、効率化を図り、残業時間の短縮に積極的に努めております。 ③働きやすい職場環境づくりのため、所定外労働時間の短縮や年次有給休暇の取得率を高める取り組みをすすめます。					5.1 5.4 5.5			8.2 8.5 8.8										
職場いきいきアドバンスカンパニー上位認証を取得（2023年10月～）	法定以上の育休明け短時間勤務制度があり利用実績があります。また、男性の育休取得者の実績があり、取得を推進しております。2023年10月から「アドバンスプラス」という上位認証を取得することができました。					5.4			8.5 8.8										
モノづくり「ミライ創造プロジェクト」に取り組んでいる	近隣の小学校を対象に、当社の工場で出る端材を使い、クッションを作るというモノづくり授業を行いました。今後もモノづくり授業の活動を継続することを予定しております。				4.1				8.4			12.5							17.17
社内企画 バレーボールで体を動かそう（2024年7月～）	当社社員のVC長野トライデント波佐間選手・安原選手主催による、社内の交流を深めるとともに、選手との触れ合いを通じてバレーの楽しさ・運動をする楽しさを感じていただく企画です。			3.8	4.1 4.3														17.17
地元高校生へバレーボール教室開催（2024年8月～）	当社社員のVC長野トライデント波佐間選手・安原選手主催による、上伊那地域4校のバレーボール部員を対象にバレーボール教室を開催しました。国内トップリーグで活躍する選手との触れ合いを通じて、地元地域を中心としたスポーツの活性に貢献する企画です。			3.8	4.1 4.3														17.17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）